

2010年6月期

決算説明会

株式会社アイ・オー・データ機器
2010年8月19日

会社概要

- 設立 : 1976年1月10日
- 代表者 : 代表取締役社長 細野 昭雄
- 所在地 : 石川県金沢市
- 資本金 : 35億8,807万円
- 年商(連結) : 446億円(2010年6月期)
- 従業員数 : 599人(2010年6月期)
- 事業内容 : PC周辺機器全般の開発、製造、販売
- 事業所 : 東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡
- 子会社 : 国際艾歐資訊股份有限公司(台湾)
艾歐資訊横山(香港)有限公司
I-O DATA America, Inc.
- 関連会社 : I-O & YT Pte. Ltd. (シンガポール)
株式会社デジオン
クリエイティブ・メディア株式会社

石川県金沢市 本社



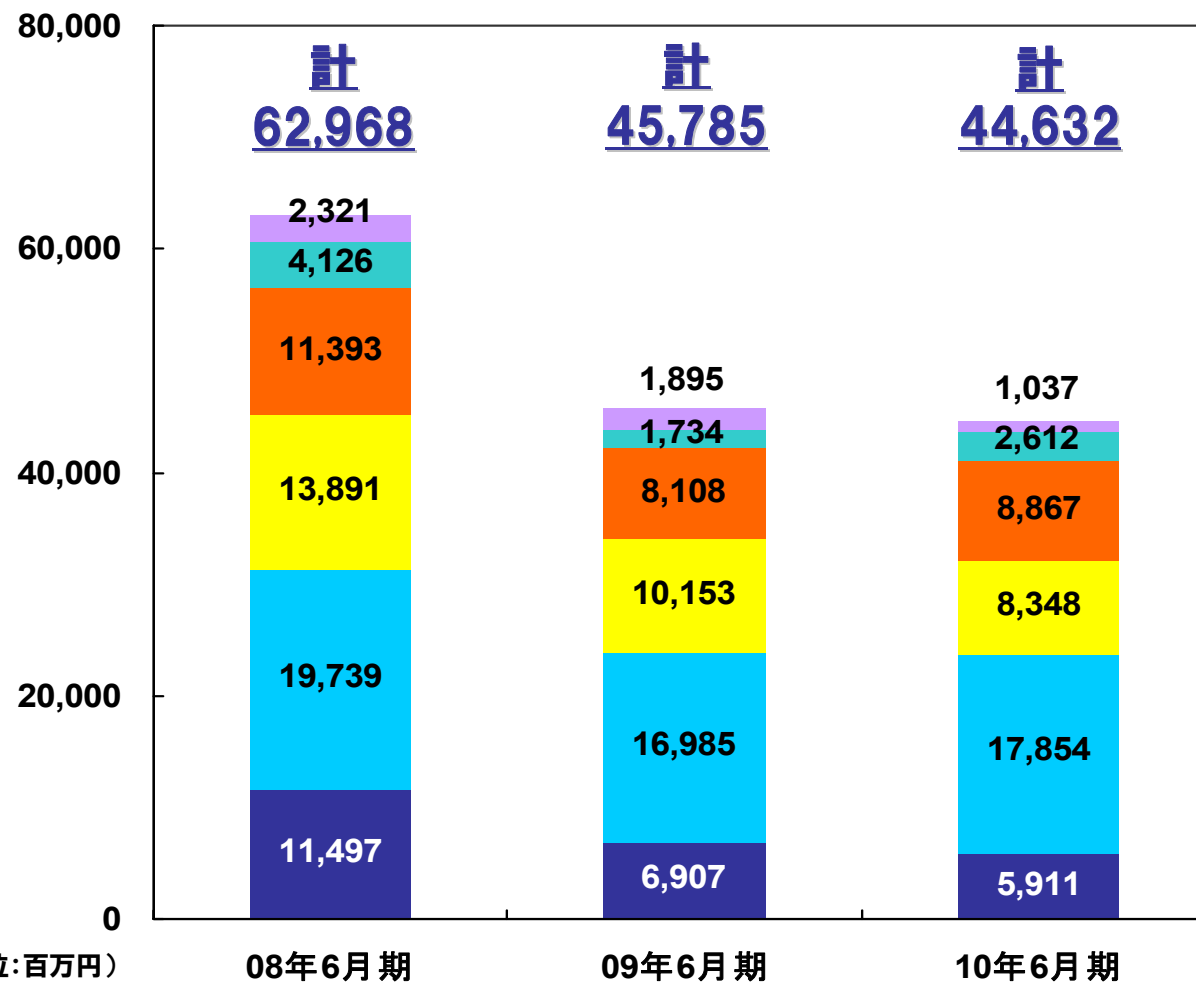
2010年6月期(P/L)

(単位:百万円)

	2009年6月期 金額 (構成比)	2010年6月期 金額 (構成比)	前年同期比較 増減額 (増減率)	主な増減要因
売上高	45,785	44,632	▲1,153 (97.5%)	・徐々に回復し始めた増設需要の下、下期に入り前年同期実績を上回ったものの、上期の減収分を挽回するには至らず。
売上総利益	5,874 (12.8%)	6,531 (14.6%)	657 (111.2%)	・新事業分野を中心に付加価値製品の投入と、原価低減が奏効し増益。
販売費及び一般管理費	6,600 (14.4%)	6,218 (13.9%)	▲382 (94.2%)	・役員報酬および従業員の給与・賞与の減額、業務委託費用等の諸経費削減を徹底。
営業利益 (▲損失)	▲725 (▲1.6%)	312 (0.7%)	1,037 (ー)	
営業外収益	213	269	56	・休業日設定による助成金収入(48)。
営業外費用	495	231	▲264	・為替差損の減少 (09年6月期347→当期112)。
経常利益 (▲損失)	▲1,007 (▲2.2%)	350 (0.8%)	1,357 (ー)	
特別利益	39	85	46	・リサイクル費用引当金の戻入益を計上(85)。
特別損失	196	53	▲143	・前期においては、過年度の保証修理費用を引当処理した影響額(133)に加え、投資有価証券評価損(49)を計上。当期は過年度特許権使用料(45)を計上。
当期純利益 (▲損失)	▲1,050 (▲2.3%)	566 (1.3%)	1,616 (ー)	

部門別売上高

- ◆地上デジタルTV関連市場において、新たな増設需要が顕在化したことにより、「ストレージ」「周辺機器」「特注」部門は増収。
法人個人ともに依然として低調なPC増設需要の下、「メモリ」「液晶」「その他」部門は減収となった。



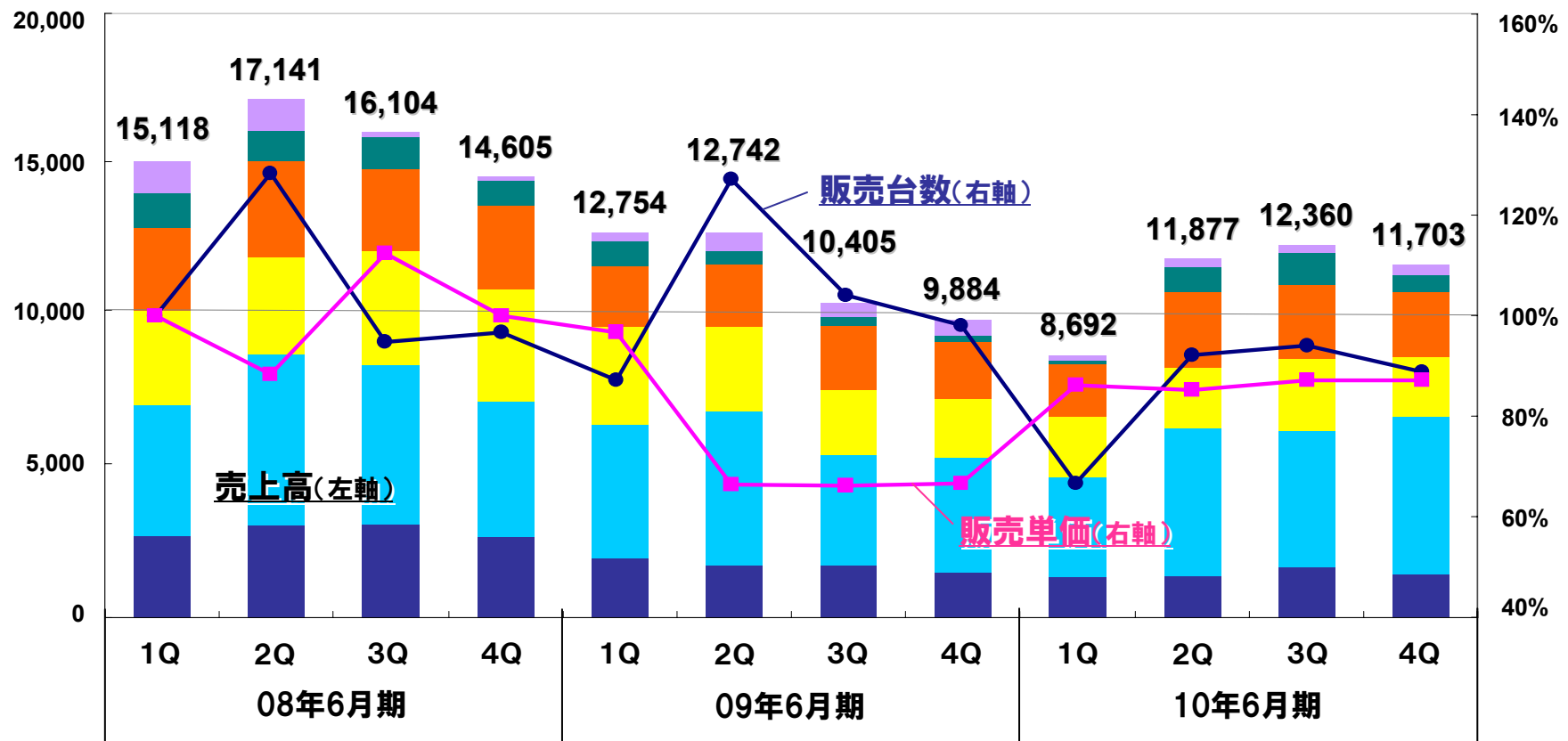
前年同期比較		
	増減額	増減率
その他	▲858	54.7%
特注	878	150.6%
周辺機器	759	109.4%
液晶	▲1,805	82.2%
ストレージ	868	105.1%
増設メモリ	▲996	85.6%

売上高四半期推移

◆前期より四半期を経る毎に縮小する増設需要、低迷する販売単価は、新たな増設市場が顕在化し始めた事により、当期第1四半期を底に反転、第3四半期より前年同期実績を上回った。

[売上高]

[全体台数・単価の増減推移※]



増設メモリ

ストレージ

液晶

周辺機器

特注製品

その他

※08年6月期第1四半期を100%とする

2010年6月期(B/S)

(単位:百万円)

	2009年 6月期末	2010年 6月期末	前年同期 比較	主な増減要因
(資産の部)				
流動資産	21,542	24,054	2,512	
現金及び預金	8,285	6,424	▲ 1,861	・期末にかけての売上増加による影響。 ・売上増加と原材料市況への対応。
受取手形及び売掛金	6,513	8,077	1,564	
たな卸資産	5,922	8,315	2,393	
その他の流動資産	821	1,236	415	
固定資産	6,372	6,409	37	
資産合計	27,915	30,464	2,549	
(負債の部)				
流動負債	9,322	11,717	2,395	
支払手形及び買掛金	7,513	9,494	1,981	・期末にかけての仕入れの増加。
短期借入金	-	-	-	
未払法人税等	108	45	▲ 63	
その他の流動負債	1,699	2,178	479	
固定負債	951	901	▲ 50	
負債合計	10,273	12,619	2,346	
(純資産の部)				
株主資本合計	18,065	18,638	573	・当期純利益の計上。
評価・換算差額等合計	▲ 601	▲ 957	▲ 356	
少数株主持分	177	166	▲ 11	
純資産合計	17,641	17,845	204	
負債純資産合計	27,915	30,464	2,549	

部門別の概況

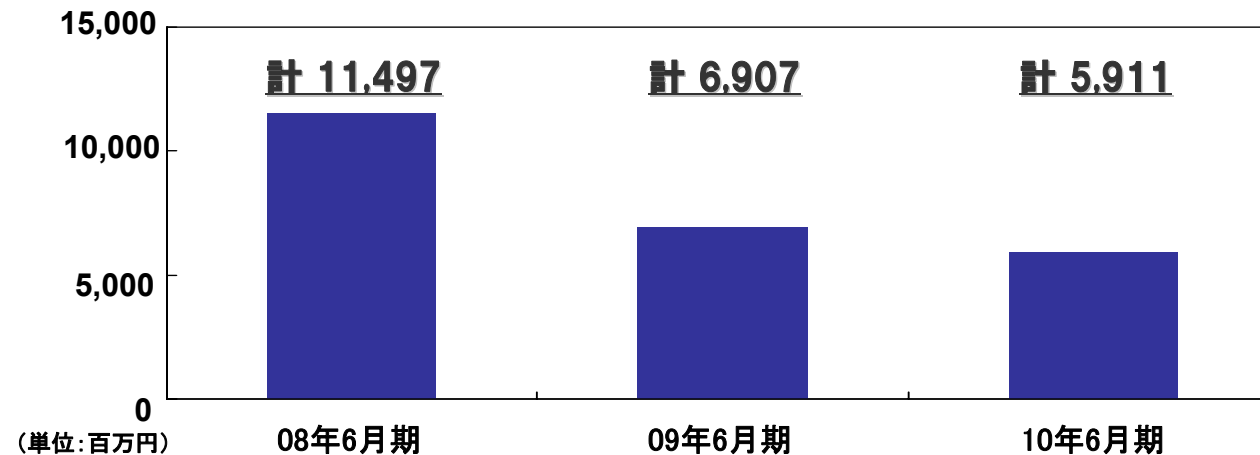
増設メモリボード部門

メモリ
メモリーカード
USBメモリ

- ⇒ 増設需要の低迷から販売台数は減少し、売上高は前期を下回る。
- ⇒ 緩やかながらも拡大し続ける法人向けセキュリティ分野に注力するものの、不採算製品の見直しによる販売台数の減少が響き売上高は前期を下回る。

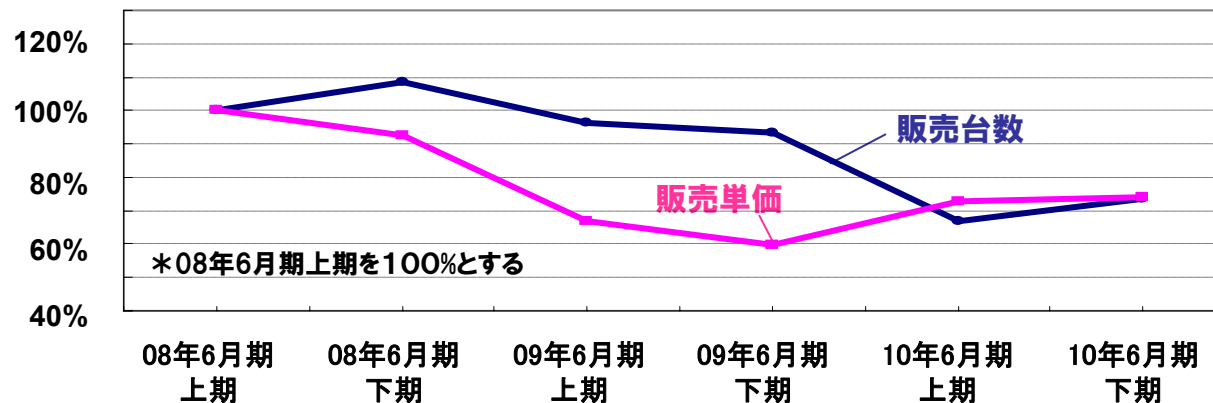


[売上高]



前年同期比較		
	増減額	増減率
増設メモリ	▲996	85.6%

[当部門全体の台数・単価の増減推移*]



前年同期比較	
	増減率
販売台数	73.9%
販売単価	115.7%

※09年6月期(通期)との比較

ストレージ部門

HDD



従来のPC増設用途に加え、地上デジタルTV録画用途での需要が伸張り
売上高は前期を上回る。

DVD・

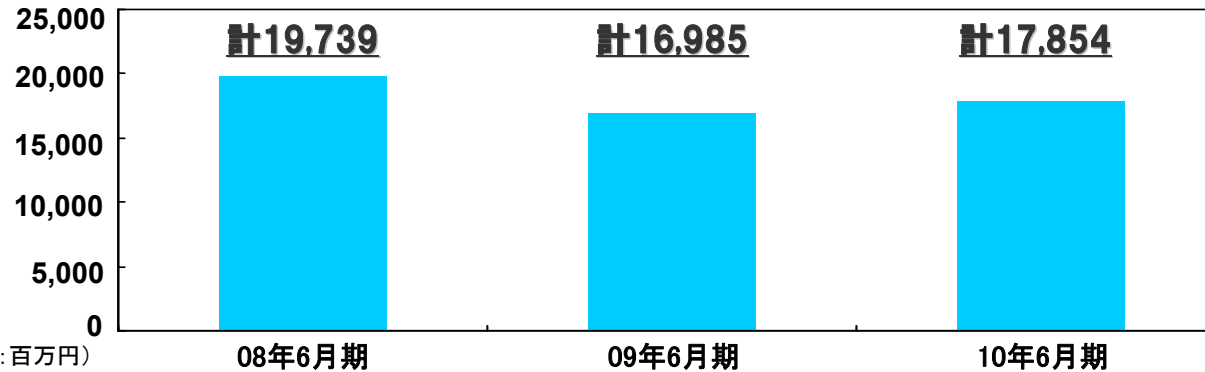


Blu-rayDisc

需要の鈍化に加え、競争の激化からシェアの低下を招き、
売上・台数ともに減少。

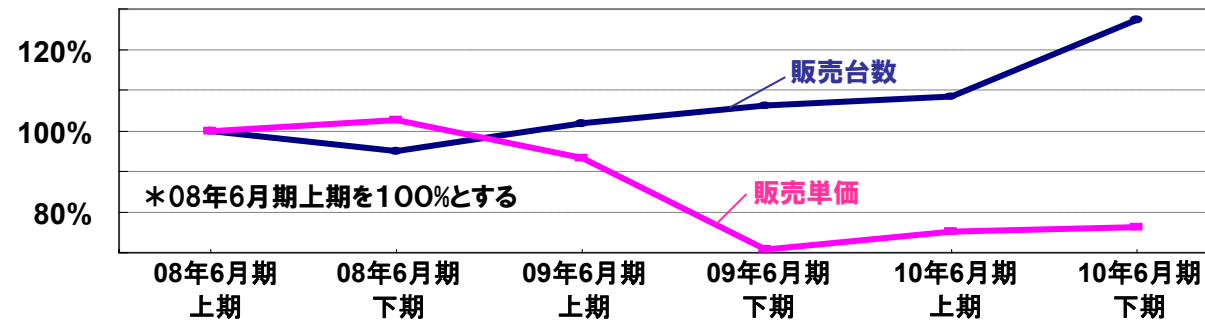


[売上高]



前年同期比較		
	増減額	増減率
ストレージ	869	105.1%

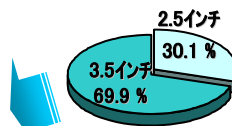
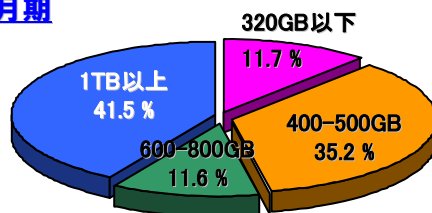
[当部門全体の台数・単価の増減推移*]



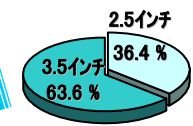
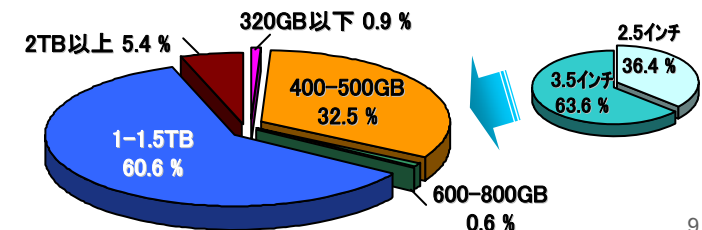
前年同期比較	
増減率	
販売台数	113.4%
販売単価	92.7%

※09年6月期(通期)との比較

09年6月期



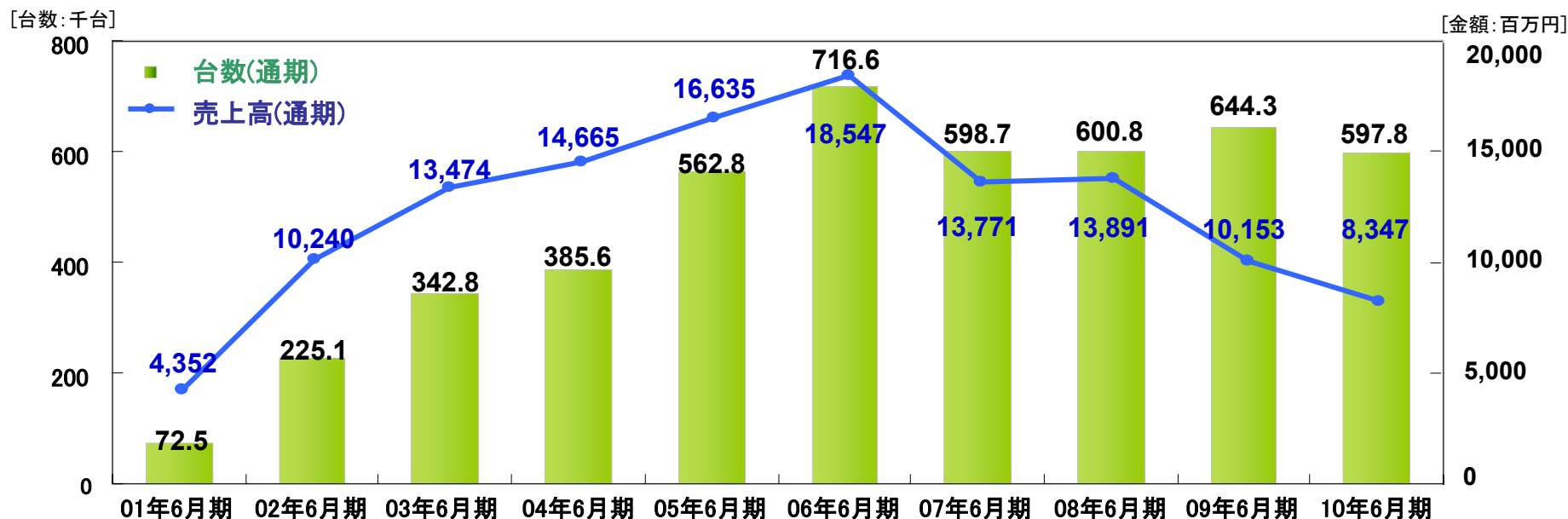
10年6月期



液晶部門

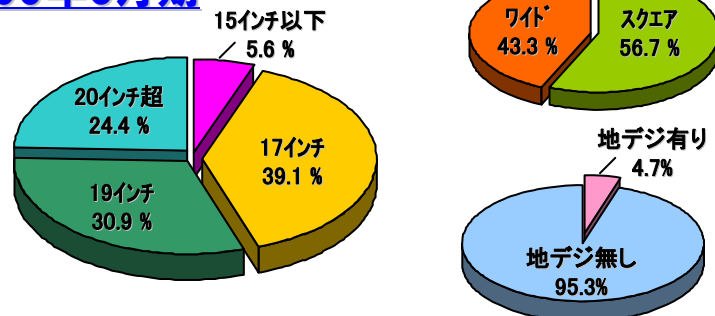
液晶ディスプレイ

教育市場においてスクールニューディール構想にともなう案件増加が見られたものの、全般的に低調な需要と、前年同期に急落した販売価格の回復は進まず、売上高は前期を下回る。

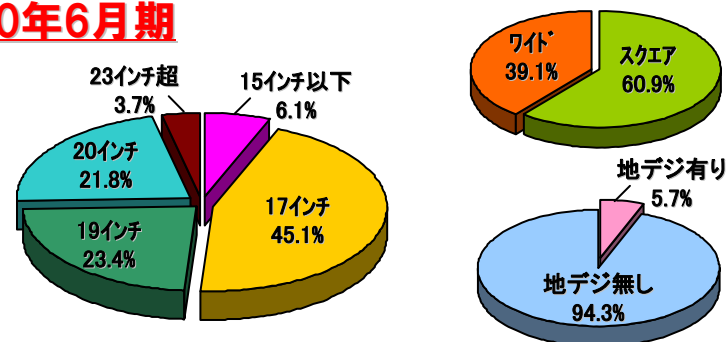


[サイズ・型別・仕様(地デジ有無)別台数シェア]

09年6月期



10年6月期



周辺機器部門



映像関連部門で
BCN AWARD 2010
最優秀賞受賞

**マルチメディア・
AVeL (デジタル家電関連)**



アナログ放送停波に向けて、PC用・アナログTV増設用の地デジチューナー製品の拡充を図り、販売台数は伸張したものの、販売価格の低下が響き、売上高の総計はほぼ前期水準に留まる。

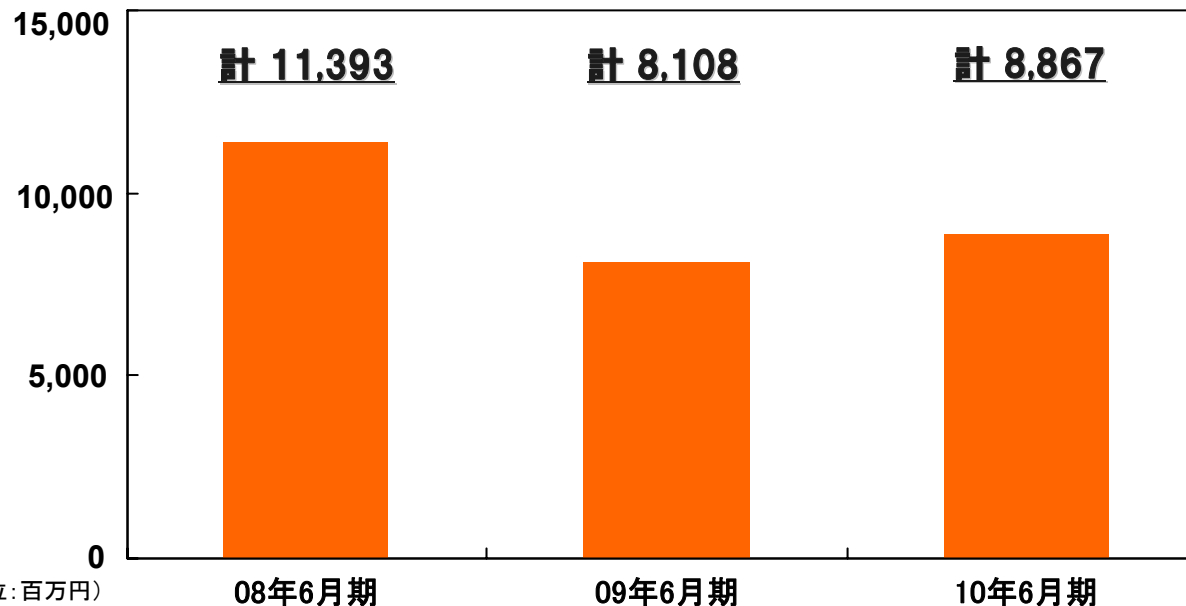
ネットワーク・通信



冷え込む法人需要の下、WiMAXをはじめとするモバイル関連製品や、NAS製品を中心に機能面の向上と利用シーンの幅を広げる提案を進め、売上高は伸張。



[売上高]



(単位: 百万円)

前年同期比較		
	増減額	増減率
周辺機器	760	109.4%

2011年6月期の業績見通し

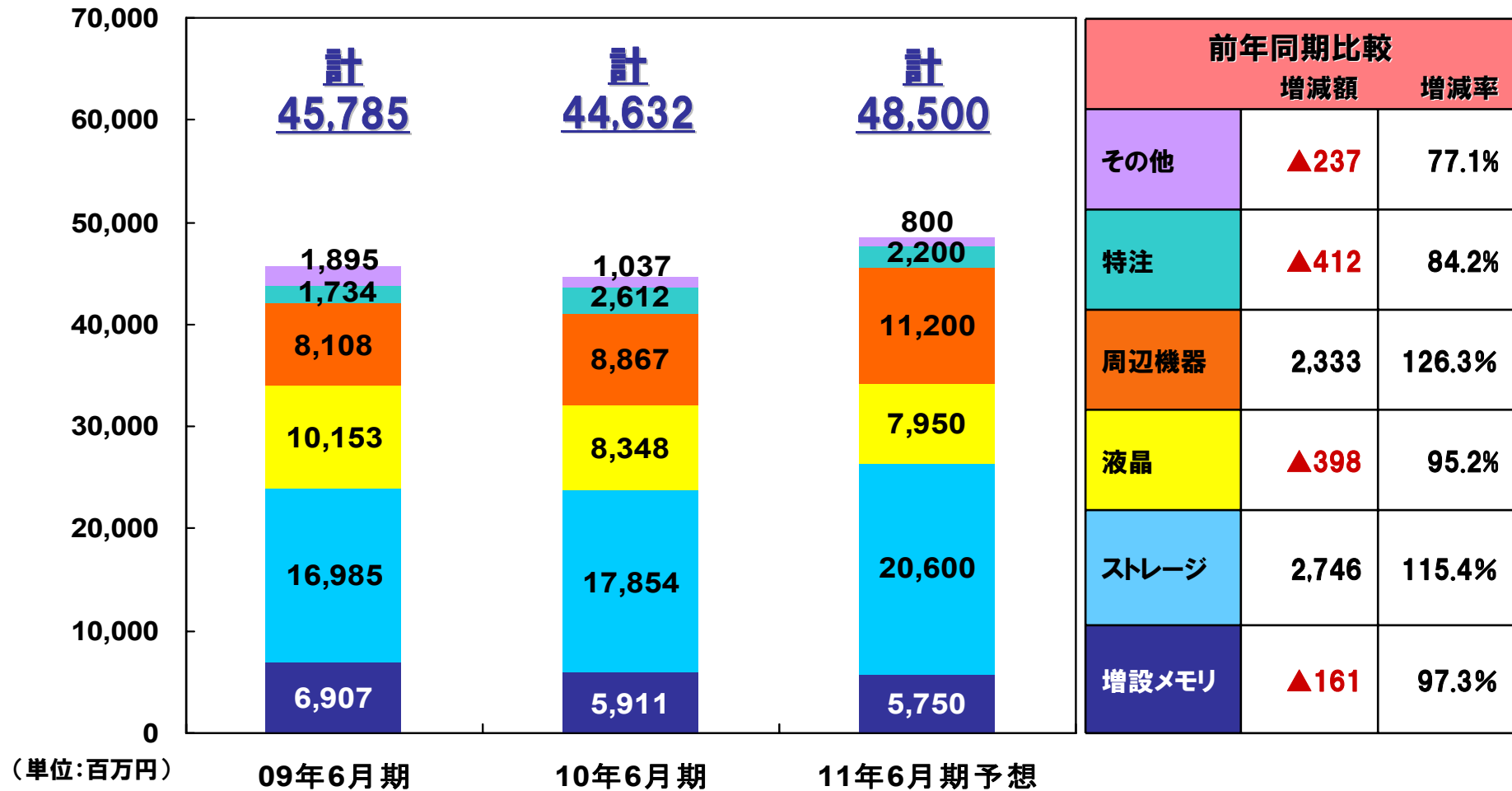
2011年6月期(P/L)予想

(単位:百万円)

	2010年6月期 金額 (構成比)	2011年6月期 金額 (構成比)	前年同期比較 増減額 (増減率)	主な増減要因
売上高	44,632	48,500	3,868 (108.7%)	・市場拡大が見込まれる地上デジタルTV関連、通信・ネットワーク分野を中心に成長することを想定。
売上総利益	6,531 (14.6%)	6,900 (14.2%)	369 (105.6%)	・売上高の伸張にともなう増益を想定。
販売費及び一般管理費	6,218 (13.9%)	6,450 (13.3%)	232 (103.7%)	・売上高の伸張にともなう変動費の増加と、成長事業の確立、競争力強化に向けた投資の増加を想定。
営業利益 (▲損失)	312 (0.7%)	450 (0.9%)	138 (144.2%)	
経常利益 (▲損失)	350 (0.8%)	530 (1.1%)	180 (151.4%)	・営業外収益、営業外費用については、定常発生科目のみを想定。
当期純利益 (▲損失)	566 (1.3%)	500 (1.0%)	▲66 (88.3%)	・法人税、住民税および事業税は、定常発生額(80)、法人税等調整額(60)、少数株主利益(10)を想定。

- ・為替レートの想定 : 1ドル87円
- ・研究開発費の予想 : 1,150百万円 (前年同期比+35百万円)
- ・設備投資の予想 : 400百万円 (前年同期比+125百万円)
- ・減価償却費の予想 : 400百万円 (前年同期比+12百万円)

部門別売上高 予想(連結)



2011年6月期の展開

デジタル家電周辺市場の確立



家庭内の“みたい”“録りたい・残したい”“つなげたい”をもっと便利に、もっと快適に実現してまいります。

～ PC周辺機器からデジタル家電周辺機器へ ～

CS・IP放送



ひかりTV

外付HDD対応型TV



東芝Regza・日立Wooo
シャープAQUOS等
HDD対応TV

録画

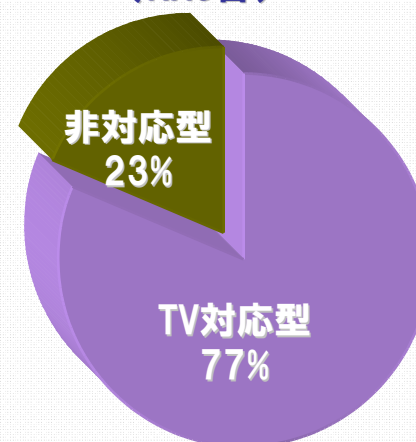
再生

録画



HDD・NAS

‘09.7～‘10.6
弊社3.5インチHDD
TV対応型販売台数比率
(NAS含)



TVやCS・CATV・IP放送(※1)の録画装置としての外付HDD需要が急拡大。
今後、ますます拡大が見込まれる中での需要を取り込んでまいります。

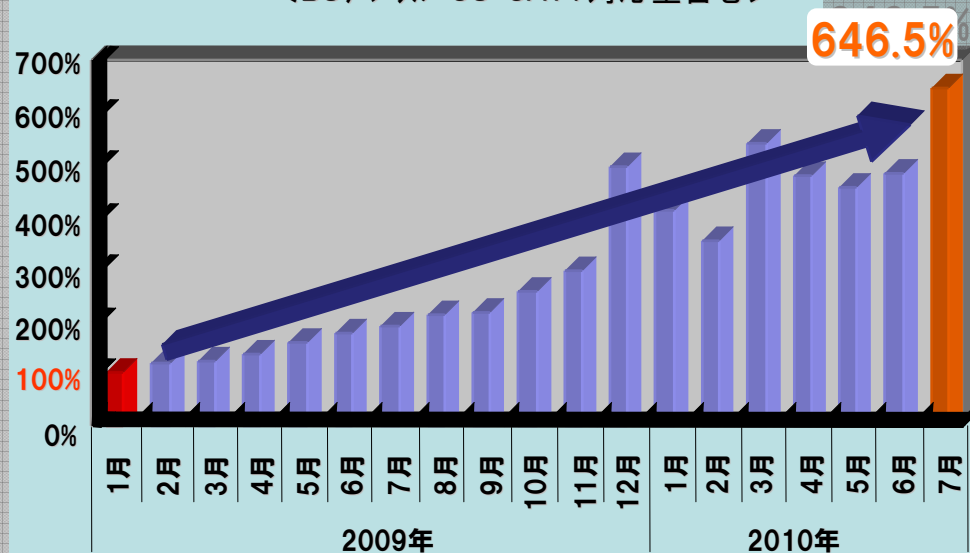
※1: 録画には、録画用外付HDDの接続可能なCS・CATV・IP放送用STBIに、対応するHDD・NASを接続することが必要となります。

※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

～ 2011年に向けた地デジ関連ビジネスの拡大 ～

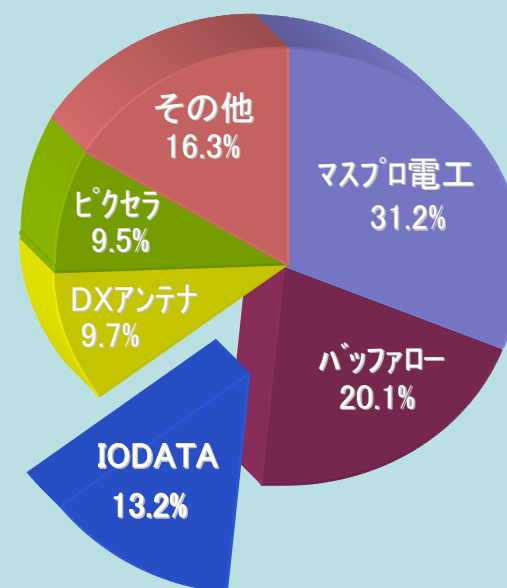
地デジ完全移行に向け急速に拡大する市場を捉えてまいります。

地デジチューナー販売台数指数推移
＜BSデジタル・CS・CATV対応型含む＞



データ元：BCNデータ、デジタルチューナーカテゴリよりワンセグ除く地デジチューナー（BS・CS・CATV対応型含む）を抽出。2009.1実績を100%とした場合の販売台数指数を弊社にて集計

地デジチューナー販売台数シェア（2010.1～7）
＜BSデジタル・CS・CATV対応型含む＞

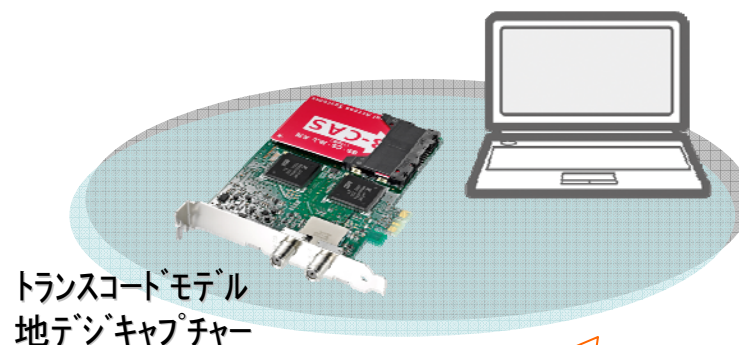
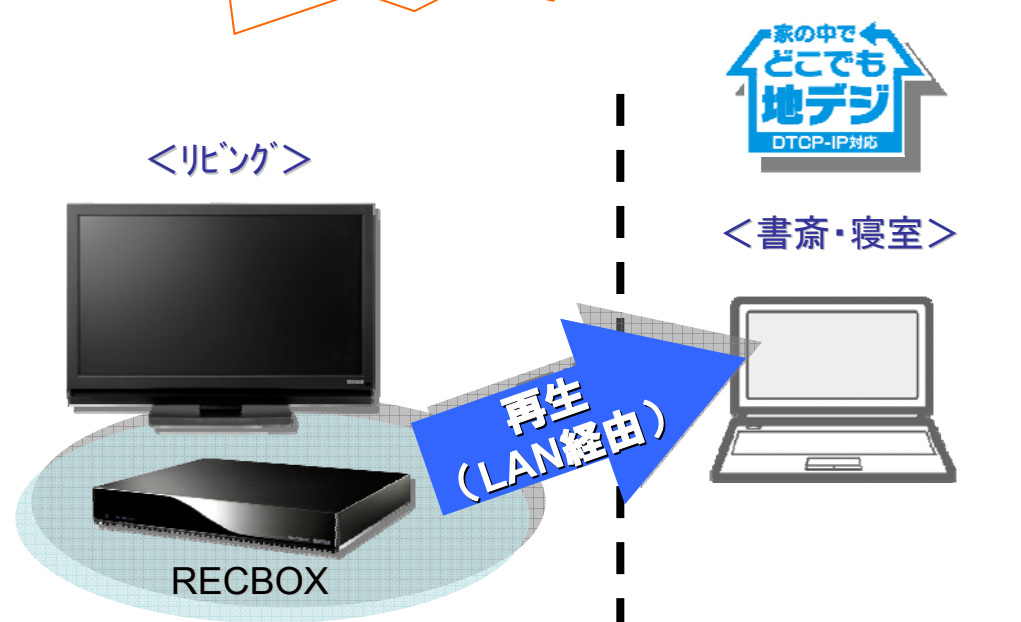


データ元：BCNデータ、デジタルチューナーカテゴリよりワンセグ除く地デジチューナー（BS・CS・CATV対応型含む）を抽出し弊社にて集計



～ 単なる“録る・みる”からの変化 ～

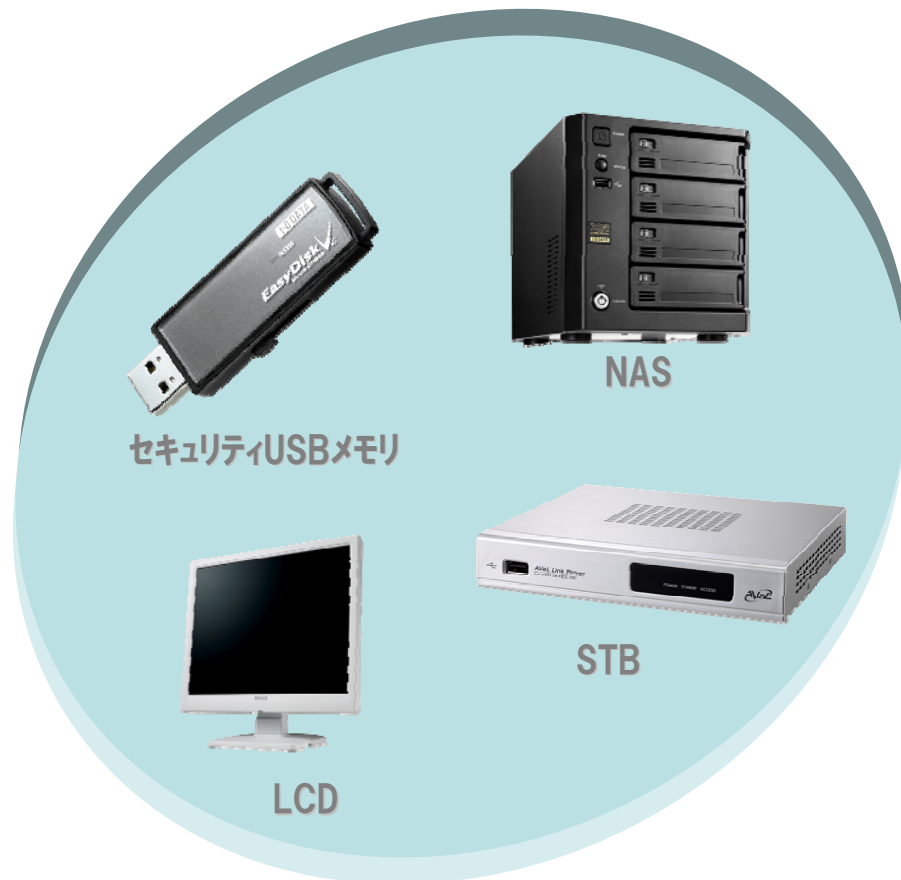
録画した地デジ・BSデジタル・スカパー!HD等の
番組を別の部屋のPCで楽しめる



フルハイビジョン画質で最大15倍録画
きれいにたっぷり録れる

単に録る・みるだけではなく、HDD容量や視聴場所を気にすることなく
それぞれの楽しみ方ができるように進化。
こうした変化の中でニーズを確実に捉えてまいります。

法人向け市場の開拓



データ共有・Backup
システム

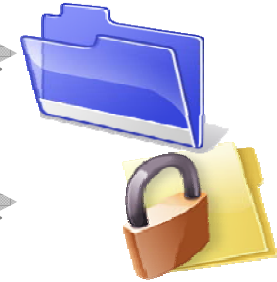
+保守サービス
(設置・保守・監視)

ウィルス&セキュリティ
対策

学校内
VODシステム

教室内ディスプレイ
一括制御システム

サイネージ
・VODシステム



サービスやソフトウェアとの組合せ、他社との連携により
安心・便利につながる製品・サービスを拡充してまいります。

本資料お取り扱い上のご注意

1. 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
2. 本資料中の業績予想ならびに将来予測に関する記述は、当社が資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済情勢の変動や予測不可能な不確定要因の影響を受けます。従って、実際の業績は本資料中の予想に関する記述とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
3. 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



更なる成長を目指し、挑戦を続けてまいります。
どうぞ、ご期待下さい。

<http://www.iodata.jp>